

屋上緑化の新技术 大面積植栽が短期間に！！

— ビオ・セル・ショット工法 による屋上緑化技術 —

特許第3088984号

兵庫県は2002年10月、東京都に次いで建築物の緑化を条例化しました。現在の緑化義務は「新設建築物の利用可能屋上面積20%以上」と比較的小規模なものです。地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の改善を考えると、倉庫や工場などの大規模な屋上の緑化が不可欠です。

そこで、植物の苗を機械により吹き付け植栽することで大面積に対応でき、従来の手作業での植栽に比べ大幅なコストダウンが可能となりました。

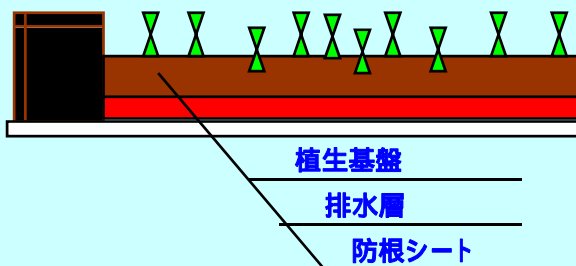
大規模屋上緑化の
画期的新技术の開発

施工システム



人工軽量土壌により薄層植生基盤を造成し、グラウンドカバープランツのセル成型苗を緑化基盤材、水と混合攪拌し、圧縮空気で吹き付けて植栽します。

植物の種類は、ヒメイワダレソウ、マツバギク、ツルマンネングサ、サカサマンネングサ、タイトゴメ、コーラルカーペットなどを混植します。60セル/m²植栽。



基盤造成、植栽、生育状況



植生基盤の造成



苗の吹き付け植栽



吹き付け植栽直後



植栽1年後



冬期の状態



植栽2年後